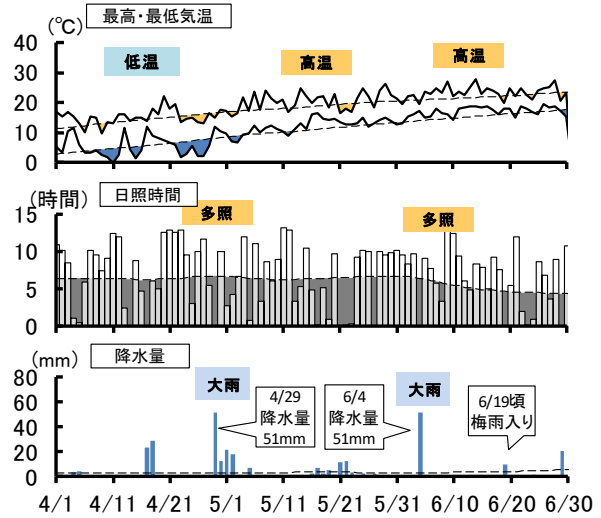


稲作情報(Vol.4)

令和3年7月2日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

6月下旬の気象経過

- ◎ 4月下旬と5月下旬に低温少照の期間がありましたが、それ以降、6月下旬まで高温多照傾向が続きました。
- ◎ 6月下旬の平均気温は平年差+0.8℃とやや高く、日照時間は平年比122%と高くなりました。
- ◎ 東南部の梅雨入りは、平年より7日遅い6月19日ごろと発表されています。降雨の少ない日が続く、6月下旬の降水量は平年に比べ43%と少なくなりました。



生育調査ほの生育状況(7月1日現在)

- ◎ 7月1日のひとめぼれの草丈は57.3cm(平年比115%)と平年に比べ長く、1㎡当たり茎数は598本(平年比96%)とやや少なく、主稈葉数は9.5枚(平年差-0.9枚)、葉色は葉緑素計値で39.2(平年差-3.2)と淡くなっています。(表1)
- ◎ ササニシキの草丈は48.0cm(平年比104%)と平年に比べやや長く、1㎡当たり茎数は628本(平年比110%)と平年に比べ多く、主稈葉数は9.1枚(平年差-1.0枚)、葉色は35.9(平年差-4.8)と淡くなっています。(表1)

表1 生育調査ほの調査結果(7月1日現在)

品種	調査ほ場	草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			葉数 (枚)			葉色(葉緑素計値)		
		前年比 (%)	平年比 (%)	平年	前年比 (%)	平年比 (%)	平年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差	平年差		
ひとめぼれ	石巻広渚	57.9	112	117	630	124	111	9.5	-0.9	-0.9	39.6	-0.5	-3.3
	東松島小松	56.6	105	113	567	96	85	9.5	-1.0	-0.8	38.8	-4.0	-3.2
	平均	57.3	108	115	598	109	96	9.5	-0.9	-0.9	39.2	-2.3	-3.2
ササニシキ	石巻寺崎	47.2	104	103	652	143	107	9.3	-0.2	-0.6	33.5	-6.1	-6.2
	石巻稲井	48.7	100	106	605	110	114	8.8	-0.8	-1.3	38.3	-4.1	-3.4
	平均	48.0	102	104	628	125	110	9.1	-0.5	-1.0	35.9	-5.1	-4.8

注) 平年値は過去5か年の平均値。葉数及び葉色の前年差および平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

〔ひとめぼれの生育経過〕

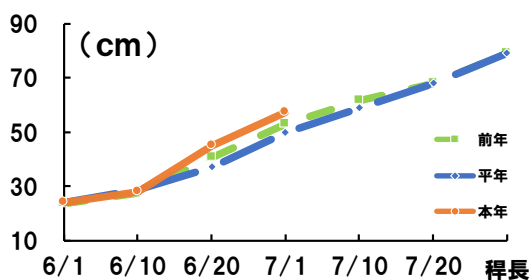


図2 草丈

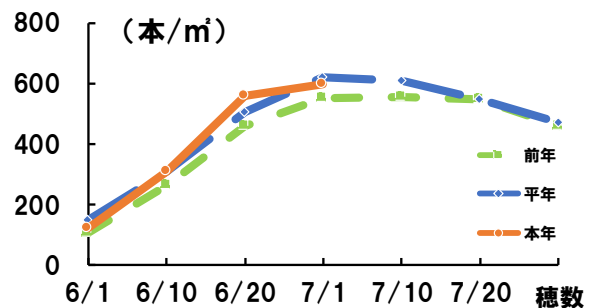


図3 茎数

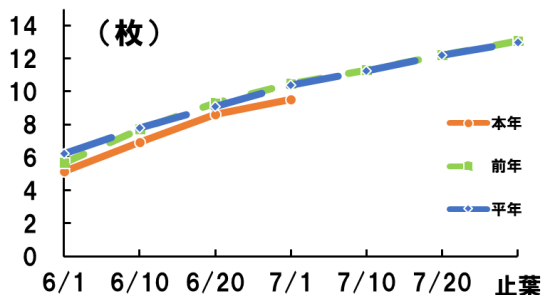


図4 葉数

〔ササニシキの生育経過〕

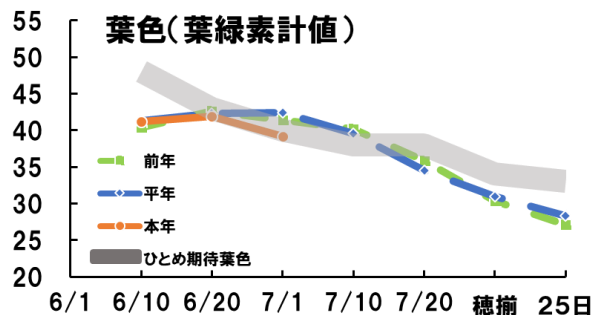


図5 葉色

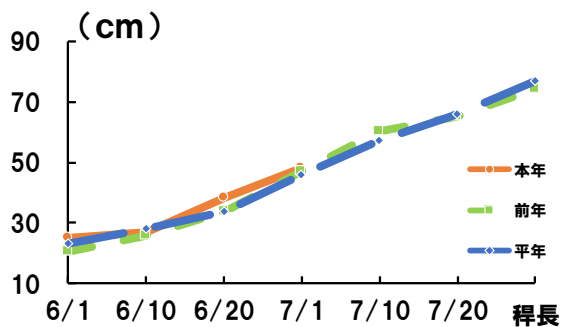


図6 草丈

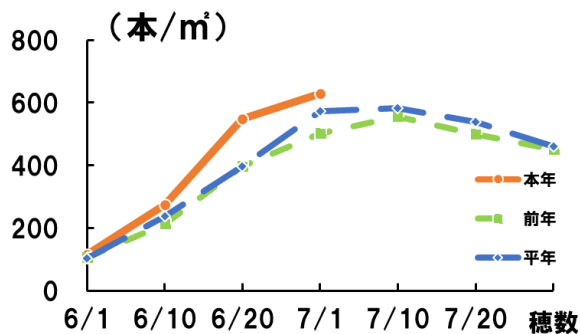


図7 茎数

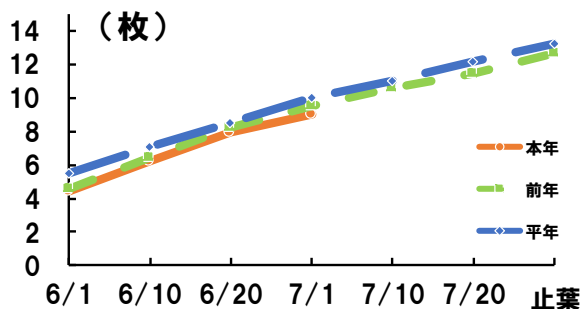


図8 葉数

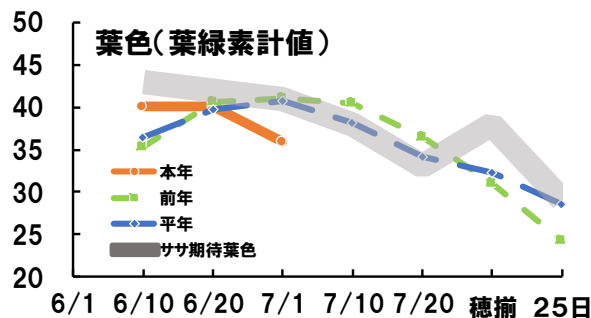


図9 葉色

乾田直播展示ほの生育状況(7月1日現在)

◎ 6月中は平均気温が平年に比べ+1.4℃高く、日照時間が平年比125%と多く、降水量は平年比74%と少なかったため、m²当たり茎数は北上、河南、桃生のいずれのほ場でも、播種量や栽植密度、水管理の影響により過去の平均値・前年値よりも多くなりました。3ほ場とも、草丈は過去の平均値・前年値よりも短く、葉色は淡くなっていますが、順調に生育しています。

表2 乾田直播調査ほの生育状況(7月1日現在)

品種	調査ほ場	年度	播種日(月/日)	出芽揃日(月/日)	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)	葉色(葉緑素計値)
ササニシキ	石巻市北上	本年	4/9	5/15	40.1	634	8.7	32.9
		前年	4/7	5/18	36.4	404	9.0	38.8
ササニシキ	石巻市河南	本年	4/2	5/18	41.5	521	8.5	36.8
		前年	4/7	5/15	43.6	489	8.4	35.9
		過去2年	4/13	5/18	42.4	499	8.3	36.9
ひとめぼれ	石巻市桃生	本年	3/26	5/18	39.9	722	8.7	33.9
		前年	3/27	5/12	40.9	397	8.2	37.9
		過去5年	4/14	5/15	40.4	465	8.3	38.2

注)「河南ササニシキ」の「過去2年」はR1と2年の平均値。「桃生ひとめぼれ」の「過去5年」は生産者と品種が同じで、ほ場が異なる5か年の平均値。



写真1 乾直北上ほ場
(7月1日)



写真2 乾直河南ほ場
(7月1日)



写真3 乾直桃生ほ場
(7月1日)

だて正夢・金のいぶき展示ほの生育状況(7月1日現在)

- ◎ だて正夢の草丈は67.0cm(過去4か年の平均値比121%)と長く、m²当たり茎数は564本(同103%)とやや多く、主稈葉数は10.1枚(同+0.3枚)、葉色(葉緑素計値)は41.5(過去4か年の平均値差+2.5)と濃くなっています。(表3)
- ◎ 金のいぶきの草丈は66.0cm(過去2か年の平均値比124%)と長く、m²当たり茎数は652本(同113%)と多く、主稈葉数は11.2枚(同+0.6枚)、葉色(葉緑素計値)は39.5(過去2か年の平均値差-1.3)と淡くなっています。(表3)

表3 「だて正夢」及び「金のいぶき」普及展示ほの調査結果(7月1日現在)

品種	調査ほ場	年次	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)	葉色(葉緑素計値)
だて正夢	東松島 小松	本年	67.0	564	10.1	41.5
		前年	58.0	505	10.6	46.5
		過去4年	55.3	547	10.4	44.0
金のいぶき	石巻 蛇田	本年	66.0	652	11.2	39.5
		前年	57.5	560	11.1	39.5
		過去2年	53.2	578	10.6	40.8

注) だて正夢の「過去4か年」は、H29～R2までの4か年の平均値。
金のいぶきの「過去2か年」はR1～R2までの2か年の平均値。



写真4 だて正夢(7月1日)



写真5 金のいぶき(7月1日)

今後の管理

1 水管理 ～ 中干しの終了とその後の水管理 ～

- ◎ 中干しの目安は、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度です。幼穂形成期から出穂期にかけては、葉からの蒸散量が多く吸水量も多くなるので、幼穂形成期始期（出穂25日前）頃までには中干しを終了しましょう。
- ◎ 中干し後に急に湛水状態にすると、土壌が強還元状態になって根腐れを起こすことがあるので、中干し直後のかん水は走り水程度に行い、その後は入水と自然落水を繰り返す間断かん水が基本です。

【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく倒伏が心配されるほ場では
→ 根の健全化と茎の充実による倒伏軽減を図るため、飽水管理（足跡の水がなくなったらごく浅めに入水）を行う。
- 直播栽培では
→ 必要茎数を確保したら直ちに中干しを行う。特に湛水直播栽培（鉄コーティング表面播種等）では倒伏防止のため移植より強めに中干しする。
- 低温が予想されるときは
→ 幼穂形成期から出穂・開花までの期間は低温による障害を受けやすいので、天気予報に注意し、日平均気温20℃以下又は最低気温17℃以下の低温が続くと予想された時は、幼穂を保温するために深水管理とする

2 幼穂形成期追肥

- ◎ 次の「幼穂形成期追肥のポイント」を参考に、葉色やほ場条件などに注意しながら実施の有無を判断しましょう。
- ◎ 幼穂形成期以降の極端な葉色低下は、登熟期の窒素栄養状態を悪化させ、玄米品質の低下を招くので、必要に応じて追肥を行い、適切な葉色管理に努めましょう。

【幼穂形成期追肥のポイント】

- 幼穂形成期追肥の目的
→ 幼穂形成期追肥の目的は、1穂数増加、分けつ減少防止による穂数の増加であり、茎数が不足している場合に効果が高い。
→ 生育量が過剰な場合には、倒伏の危険性が高まるので注意！
- 品種に適した追肥時期・追肥量（表4参照）
→ ササニシキ、みやこがねもちは倒伏しやすいので、原則として幼穂形成期追肥は行わない。
→ つや姫の幼穂形成期はひとめぼれより10日程度遅いので注意！
- 基肥やほ場の地力を考慮
→ 基肥一発肥料を使用した場合、追肥は基本的に不要。
→ 黒泥や強グライ土、復元田では、生育後半に地力窒素が出るので注意！
→ 湛水直播栽培は倒伏しやすいので、幼穂形成期追肥は控える。
- 有機質を含む肥料を追肥するときは
→ 有機入り化成肥料は通常の化成肥料より肥効が遅く、また有機質肥料の割合が大きいほど肥効の発現が遅くなるので、使用する肥料の特徴を十分理解し、追肥時期を判断する。

表4 幼穂形成期追肥の生育量の目安

品種	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	窒素成分追肥量 (kg/10a)	施用時期
ひとめぼれ	56～59	470～530	38～40	1.0	出穂前 20～25日頃
ササニシキ	62～68	720～760	34～36	0.0	
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	
つや姫	70～75	550～580	35～37	2.0	
だて正夢	64～70	390～460	40～42	1.0 (※2)	
金のいぶき	65～70	570～620	33～35	1.0	

※1 環境保全米では化成肥料窒素の施肥量の上限が決められているので注意してください。

※2 だて正夢は幼穂形成期に生育量の目安に達している場合は、幼穂形成期追肥は行わず、減数分裂期追肥2kg/10aを目安とする。

3 いもち病対策 ～ 葉いもち発生量は「やや多」～

◎ 県内の葉いもち発生量は「やや多」、発生時期はやや早く、発生開始期は7月第2半旬（7/6～7/10）と予想されています（6月25日 宮城県病害虫防除所発表）。

◎ アメダス資料による感染好適日の推定では、6月下旬に県内の一部で、「いもち病感染の好適条件」が出現しています。水田の見回りをこまめに行い、葉いもちの早期発見に努めましょう。

4 斑点米カメムシ類対策

～ 出穂10日前までには草刈りを！ ～

◎ 雑草や牧草の刈取りは早めに実施し、出穂の10日前までには終わらせましょう。

表5 (参考) 石巻管内の直近5年の出穂期

年次	始期	盛期	終期
令和2年	8月1日	8月5日	8月12日
令和元年	8月1日	8月3日	8月7日
平成30年	7月29日	8月1日	8月10日
平成29年	7月29日	8月2日	8月19日
平成28年	7月29日	8月2日	8月10日

※ 出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日

東北地方1か月予報

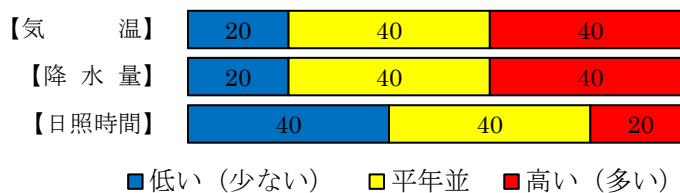
(7月3日から8月2日までの天候見通し)

令和3年7月1日 仙台管区气象台 発表

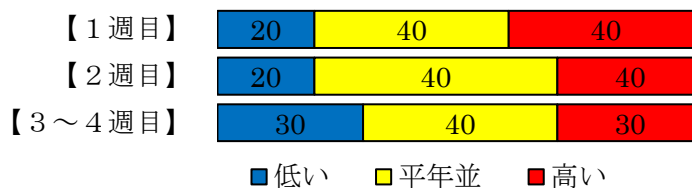
<予想される向こう1か月の天候>

気温は平年並か高く、降水量は平年並みか多いでしょう。

<向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<週別の平均気温の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月3日(土)～ 8月2日(月)

1週目 : 7月3日(土)～ 7月9日(金) 2週目 : 7月10日(土)～ 7月16日(金)

3～4週目 : 7月17日(土)～ 7月30日(金)